

## 編集後記

○樟蔭女子大学の国文学科は、昭和二十四年四月、本大学が新制大学として発足すると同時に開設されたものであるが、その前身は、樟蔭女子専門学校時代の国文学科（大正十五年に開設）である。したがって、わが国文学科は、女専時代の伝統を受け継ぐと共に、新しく大学としての性格を展開しつつ、現在に至っているものといえることができる。

○本学園に大学が発足した年の十月に、英文学会との共同編集

で「樟蔭文学」が発刊され、同誌は爾来、年一回の刊行を持続して、第十四号まで出した。今回、同誌を発展的に解消して、

国文学科においては「樟蔭国文学」を刊行することとなったもので、本号はすなわちその第一号である。本号には、多忙のなかを学長の寄稿を得、専任教授の論考三篇と本年度の卒業論文の要約二篇とを収めた。

○ささやかなものではあるが、本誌を一つの拠点として、国文学科の活動がより活発になることを、関係者一同期している次第、大方のこんごのご鞭撻・ご支援をお願い申し上げます。

## 執筆者紹介

安田 章生	本学教授
竹内美千代	本学教授
細川 馨	本学学長
原田 芳起	本学教授
中根 千賀子	本学昭和三十八年卒業生
吉田 玲子	本学助手（昭和三十八年卒業）

樟蔭国文学 第一号

昭和三十九年一月十五日印刷  
昭和三十九年一月二十日発行

編集者 大阪樟蔭女子大学  
国文学会

(代表者 安田章生)

布施市長堂二ノ七六

印刷所 中村朝日堂印刷所

布施市妻屋西二五八

発行所 大阪樟蔭女子大学  
国文学会